

天守閣で茶の湯楽しむ 白石城市民茶会



優雅にお茶を楽しむ恒例の市民茶会(白石茶道会と碧水園が主催)が9月24日、白石城と碧水園で開かれ、江戸千家、表千家など4団体が市民をはじめ仙台などから訪れた約700人にお点前を披露しました。

あいにくの雨となったこの日、野だては歴史探訪ミュージアム内に移して行われましたが、琴の曲が流れる中、参加者は席上から茶道具などについての説明を受けながら、ゆったりとお茶を楽しみました。



であいふれあい・ささえあい

ホワイトキューブで10月1日、白石陽光園など市内の福祉施設やボランティア団体など約50団体が集まって、第2回福祉まつりが開かれ、障害を持つ方々と市民が楽しみながら交流を深めました。

会場では、手話や車いす、目隠しをしながら白つえで歩くなどの体験



第2回福祉まつり

コーナーや、福祉施設などで作られた工芸品、絵画、農産物などを展示、即売するコーナーなどが設けられ、大勢の市民が訪れました。

また、ステージでは、福祉施設利用者による歌や踊り、和太鼓、手話劇などが披露され、会場からは盛んな拍手が送られていました。

味は上々

白石城で「新米試食会」

仙南地域でこの秋収穫されたばかりの新米の試食会(宮城県稲作安定対策大河原地方本部など主催)が9月21日、白石城天守閣で行われ、地元の生産者、消費者の代表など約40人が新米を味わいました。



この日用意されたのは、まなむすめ、ひとめぼれ、ササニシキの3品種。参加者はおむすび状になった炊き立ての3品種の光沢や香りなどをチェックしながら、じっくりと味を確かめていました。

広がる交流の輪 白石・黒石市民文化交流大会



両市の名にちなんで昭和63年に始まった親善囲碁交流大会は、昨年黒石市で開かれた第8回大会から将棋と茶道を加え、市民文化交流大会として交流の輪を広げてきました。

今年の第9回大会(白石黒石囲碁親交会など主催)は9月30日、両市から約70人が参加して、囲碁と将棋は小原温泉のホテルで、茶道は碧水園で開かれました。対局では真剣勝負の中にも時折和やかな場面が見られました。

対戦結果 囲碁:14勝14敗(引き分け) 将棋:白石市の3勝7敗

子供たちの心に「安全の灯」 小原小・交通安全しおり大作戦



秋の交通安全市民総ぐるみ運動期間中の9月22日、小原小学校の子供たちが学校下の国道113号で、交通安全のしおりを運転者に手渡ししながら安全運転を呼び掛けました。

このしおりは、「人にも道にもやさしい運転を」などと書いた色紙に、学校の花壇で栽培したラベンダーと一緒にラミネートしたもので、すべて子供たちの手作り作品です。

参加した全校児童57人は、運動期間中だけでなく、普段から交通事故に遭わないように気を付けたいと話していました。

刈田病院跡地利用ワークショップ成果発表会

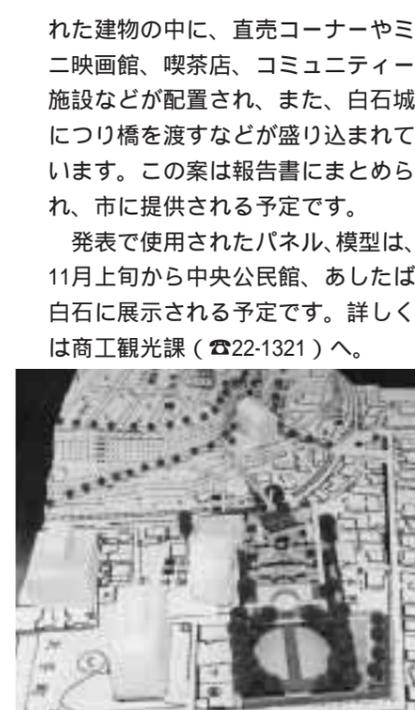
市民が主役!



市内の事業者や主婦、学生など約20人が検討を重ねてきた公立刈田総合病院の跡地利用の方法を探るワークショップの成果がまとめられ、その発表会が9月24日、いきいきプラザで開かれました。

ワークショップは県の委託を受けて県地域振興センターが主催してきたもので、にぎわいと元気があり明るく心の通う商店街づくり、回遊性のある街づくりなどを基本方針に置いて検討されてきました。

模型やスクリーンを使ってこの日発表された案は2つ。低層に抑えら



発表された案の一つ(模型)

ナシで犯罪なしを呼び掛け 犯罪なしキャンペーン

白石駅前では11月12日、「防犯で明るい家庭よい社会」と書かれた短冊がつけられたナシを配り、犯罪のないまちをと呼び掛ける「犯罪なしキャンペーン」が行われました。



このキャンペーンには、この日一日警察署長を委嘱された市の外国語指導助手ステファニー・ベチアーニさんも参加。白石地区防犯協会の会員や白石警察署員と一緒に、白石駅の利用者などにナシを手渡ししながら地域安全を呼び掛けました。

ノーマライゼーションを目指して 福祉プラザやまぶきオープン



10月6日、旧南保育園跡地に「福祉プラザやまぶき」がオープンしました。この施設内には、現在21名が通所している「福祉作業所やまぶき園」が移転。ふれあい室、陶芸工房、相談室などが整備され、障害者の福祉作業所として、また障害者と健常者の交流の場を持った施設として今後活用されていきます。

この日は、やまぶき園の園生や、福祉プラザやまぶきを運営する白石市心身障害児育成会の代表者などがテープカットをしました。

社会福祉事業に役立てて 寿山の松野さんが100万円寄付



9月26日、寿山にお住まいの松野今朝男さん・ヨシ子さんご夫妻が市役所を訪れ、社会福祉事業に役立ててほしいと市に100万円を寄付しました。松野さんご夫妻は、平成4年から特別養護老人ホーム八宮荘・えんじゅなどの施設行事のお手伝いをはじめ、定期的に慰問活動を行うなど、日ごろより福祉の向上にご尽力をされております。

市では、今回の寄付金を福祉プラザやまぶきなど、福祉施設の備品購入などに充てることにしています。

園児のために大工さん奮闘 白石市建設職組合奉仕作業



市内9つの保育園で10月1日、園内の備品などを補修、製作する奉仕作業が行われました。

これは毎年この時期に、白石市建設職組合青年部の皆さんが材料や道具を持ち寄って行っているもので、20年以上も続いています。

今回も屋根や網戸、押し入れの修理、整理物入れや本立ての製作、テレビの転倒防止やかばん掛けの取り付けなどをさせていただきました。ありがとうございました。